

いわぬま

平成30年12月定例会

市議会だより

2019・3
第143号

消防団に女性のチカラを！

女性ならではの支援活動も多々求められ、全国ではたくさん
の女性消防団員が活躍しています。私たちと一緒に活動し
てみませんか！

(平成31年11月6日消防出初式)

主な内容

- ◆議案等に対する議員の賛否状況と審議結果…………… 2
- ◆一問一答方式による一般質問 …………… 3～8





議案等に対する議員の賛否状況と審議結果

平成30年第7回(12月)定例会

12月4日から12月13日まで

○…賛成、×…反対

議案番号	審議した議案等	会派名・議員氏名														審議結果		
		いわぬまアリスト				岩沼政策フォーラム												
		大友健	須藤功	植田美枝子	稲塚悦男	菊地忍	国井宗和	佐藤剛太	佐藤淳一	高橋光孝	布田一民	櫻井隆	森繁男	長田忠広	酒井信幸	渡辺ふさ子	布田恵美	
議案69号	岩沼市体育施設等への指定管理者制度導入等に係る関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案70号	岩沼市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例(一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案71号	岩沼市職員の給与に関する条例及び岩沼市一般職の任期付職員の採用等に関する条例(一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案72号	岩沼市市税条例(一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案73号	岩沼市保育所設置に関する条例(一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案74号	岩沼市子育て支援センター設置条例(一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案75号	岩沼市水道事業の設置等に関する条例(一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案76号	岩沼市議会議員及び岩沼市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例(一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案77号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
議案78号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
議案79号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
議案80号	財産の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案81号	指定管理者の指定(岩沼市民体育センター条例に定める公の施設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案82号	指定管理者の指定(岩沼市都市公園条例に定める公の施設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案83号	指定管理者の指定(岩沼市民テニスコート設置条例に定める公の施設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案84号	指定管理者の指定(岩沼市営スポーツ公園設置条例に定める公の施設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案85号	指定管理者の指定(岩沼市総合運動場の設置及び管理に関する条例に定める公の施設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案86号	平成30年度岩沼市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案87号	平成30年度岩沼市公共下水道特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案88号	平成30年度岩沼市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案89号	平成30年度岩沼市矢野目西地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案90号	平成30年度岩沼市特定公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案91号	平成30年度岩沼市水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案92号	工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案93号	工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議1号	議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例(一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
意見書4号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
意見書5号	介護従事者の勤務環境及び処遇改善を求める意見書	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否決

次の定例会は2月26日(火)開会、

一般質問は3月4日(月)、5日(火)、6日(水)に行われる予定です。

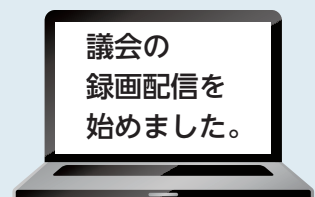
岩沼市議会では、本会議及び委員会を公開していますので、傍聴ができます。

議会の録画配信を12月から始めました。

なお、録画配信は会議の日からおおむね1週間後にご覧いただくことができます。

ぜひ、岩沼市議会ホームページからアクセスしてください。

ホームページアドレス <http://www.gikai-iwanuma.jp> または、岩沼市議会で検索してください。





水道事業

菊地 忍

問 近年、日本各地で「水道管破裂」が相次ぐなど、耐用年数を超えた配水管の入れ替えが急務となっている。日本はこれから世界史上類を見ないスピードで「高齢化」「人口減少」社会がやって来る。水道収入も減り、このままでは水道事業財政が大変厳しい状況になっていくことが予想される中、国会では水道法の改正が行われ、「水道事業の民営化」でこの国難を乗り切ろうとしている動きもあるが、なかなか課題も多く、海外においては、民営化後に料金が倍になり、水紛争まで起きている国もあると報道されている。岩沼市の「水道事業の未来について」伺う。

市長 市の水道事業は、昭和28年に創設され30年から給水を開始しています。以後、安定供給に努めてきました。しかし、これからは人口減少を迎え、料金収入の減も予想されます。市としてはこれらを想定し、平成28年に岩沼市水道事業ビジョンを策定し対策を進めています。

問 近年、日本各地で「水道管破裂」が相次ぐなど、耐用年数を超えた配水管の入れ替えが急務となっている。日本はこれから世界史上類を見ないスピードで「高齢化」「人口減少」社会がやって来る。水道収入も減り、このままでは水道事業財政が大変厳しい状況になっていくことが予想される中、国会では水道法の改正が行われ、「水道事業の民営化」でこの国難を乗り切ろうとしている動きもあるが、なかなか課題も多く、海外においては、民営化後に料金が倍になり、水紛争まで起きている国もあると報道されている。岩沼市の「水道事業の未来について」伺う。

市長 市の水道事業は、昭和28年に創設され30年から給水を開始しています。以後、安定供給に努めてきました。しかし、これからは人口減少を迎え、料金収入の減も予想されます。市としてはこれらを想定し、平成28年に岩沼市水道事業ビジョンを策定し対策を進めています。

問 配水管は何%あるのか。水道事業所長 全体の41%で、41・7キロメートルあります。

問 更新計画を伺う。

水道事業所長 岩沼市水道事業アセットマネジメントを策定し、計画的に更新を行っています。

問 人口減少社会を迎え、家庭用水道料金収入の減少が予想されるが、今後の水需要の見通しを伺う。

水道事業所長 平成37年度には給水人口が4万2471人、一日平均配水量が1万4093立方メートルを予想しており現在の約2%減を見込んでいます。

問 コンセプション方式問う

問 施設の運営権を民間に売却し、民間による施設の効率的な運営を期待する「コンセプション方式」について、市の考えを伺う。

市長 岩沼市にとってプラスになるのかをしっかりと調査し、研究していきたいと思えます。

問 その他の一般質問
・奨学金返還支援制度

問 各学校のプールの耐用年数について伺う。

教育次長 50年から60年と考えます。

問 市内8校のプールで最も新しいのが西中学校で31年経過、他は40年以上経過しているが、最も早く建て替えるべきプールのある学校はどこか伺う。

教育次長 一番古いプールは昭和42年に造った北中学校です。

問 新しく造り替えた場合の建設費用を伺う。

教育次長 25メートル掛ける16メートルで約1億5000万円、撤去費用に1000万円の費用がかかるかと想定しています。

問 新しく建設する予定はあるのか伺う。

教育次長 メンテナンスをしながら使う考えです。

問 学校プール選択肢は4点

問 将来考えられる、岩沼市の選択肢は4点ある。1点目は、現在の1校1プールを今後も使い続ける形だが、天候に左右されやすく

水泳の授業が保証されない。また、施設ライフサイクルコストが高いという欠点がある。

2点目は、拠点屋内プールを新たに建設する。利点としては、専門的な水泳指導が受けられ、安全性が確保される。しかしながら、新規事業になるので、一定の期間と労力が必要となる。

3点目は、民間プールの活用だが、市内には該当する民間プールが無い。

4点目は、公共プールの利用でありコストは最も低いが、現在利用している市民の利用時間の縮小等の問題もあり、どれを選択しても一長一短がある。

以上の点から、今後の学校プールのあり方について教育長、市長の見解を伺う。

教育長 今回のプールを大事にしながら、どういう方向性があるのか検討し、調査研究していきます。

市長 今後も教育委員会といろいろ情報を共有しながら児童・生徒の環境整備に取り組んでいきます。

市長 今後も教育委員会といろいろ情報を共有しながら児童・生徒の環境整備に取り組んでいきます。

市長 今後も教育委員会といろいろ情報を共有しながら児童・生徒の環境整備に取り組んでいきます。

市長 今後も教育委員会といろいろ情報を共有しながら児童・生徒の環境整備に取り組んでいきます。



疾病予防

長田 忠広

問 子ども医療費助成制度の対象年齢を18歳まで拡大してはどうか伺う。

健康福祉部長 子ども医療費助成制度については、これまでの答弁でも子育て支援の重要施策と考えていると話しています。さらにこれまでも拡大に当たって試算等を行ってきています。現段階では県内市部の実施状況や、国の動向を見ながら、対象の拡大について判断していきたいと考えます。

問 他の市町の実施状況は、35市町村のうち、18歳まで拡大しているのが26市町村になっている。さらには、県南4市9町のうち、9市町が18歳まで拡大している。そこで、これは政治判断になるので、市長答弁を願いたい。

市長 大変大きな財源になるわけですから、それらと見比べて格差が出ないようにしていくという、その視点でこれからももう少し見極めていきたいと考えています。

支払い方法を現物給付に

問 心身障害者医療費助成、母子

父子家庭医療費助成について、医療費の支払い方法を（窓口で支払いのない）現物給付に変更してはどうか伺う。

健康福祉部長 これまでも県市長会や県知事との懇談会でも現物給付化の要望をしてくれています。引き続き機会を捉えて、県に対して要望を続けていきたいと考えます。

問 子ども医療費助成の対象者は、現物給付になっている。そこで、母子父子家庭医療費助成の対象者で「子ども」だけは子ども医療費助成の対象にして、現物給付化してはどうか伺う。

市長 転入してきた方々から、以前の市町村は（母子父子家庭医療費助成の現物給付が）適用できたのに、なぜ岩沼はできないのかという話もあります。そこで、子ども医療費の優先適用ができるかどうか、試算等も含めて研究を始めているという状況になっています。

- ◎その他の一般質問
- ・地域福祉
- ・岩沼市震災復興計画のフォローアップ計画



子ども食堂活動支援

布田 恵美

問 地域の子どもに無料か安価で食事を提供することも食堂が市内で始まって一年を迎え、現在4団体がそれぞれに個性ある活動を続けている。こども食堂活動への見解を伺う。

健康福祉部長 誰もが利用できる場としても活動が広がり、子どもを見守る場、地域交流、世代間交流の場としても意味のあるものと捉えており、大変喜ばしく考えています。その開設に関わった方々の思いを感じ、尊重しながら見守っていきます。

子ども食堂への支援策を



こども食堂・参加中の様子

問 活動状況を見ると、地域食堂・共生型の活動を重ねている団体もあり、幼児から高齢者までが立ち寄り、交流を持ちながら食事をす

る姿を見ると食育、交流の場としての意義も感じる。運営は、市民有志が食材費の一部を利用者に負担いただく形で実施しており、篤志家、理解ある食品事業主からの提供もある。今後の継続的な活動で、欠食・孤食・個食を少しでも減らし、世代間の支え合いを通じて地域の中で安心した居場所の一つになれる活動を目指している。この活動を継続していくために何らかの支援策を考えるべきではないか伺う。

市長 こども食堂の活動が、全国的な広がりを見せていると理解しています。しかし、行政が支援をしてこの活動をどんどん進めるといったところまではいいっていないと思います。市としては、いろんなものをつなぐ立ち位置にあると受け止めながら、本来どんな形で支援をすればいいか、子どもたちの食、あるいは交流の場としても活用することを見極めていきたいと思っています。

- ◎その他の一般質問
- ・市民活動支援



公共施設

渡辺ふさ子

問 公共施設等の使用料等について、31年10月の消費税率改定に合わせて見直しを行いたいと市政報告がされたが、算定根拠は何か。

総務部長 維持管理費などに要する経費の範囲と、受益者負担割合の設定に関する基本的な考え方を明確にお示しできるよう、検討を進めたいと考えています。

問 利用団体との意見交換会や市民アンケート等において、市民の意見を聞くべきではないか。

総務部長 情報提供が大事だと考えます。パブリックコメントやアンケート調査などこれから検討したいと考えます。

利用を抑制しない配慮を

問 公共施設は生涯学習や福祉・健康づくり等に有効活用されており、総合的に判断し、利用の抑制にならないよう配慮すべきではないか。

総務部長 施設の設置目的に合致したような利用をいただけるように、近隣の自治体の料金なども参考にしながら検討します。

問 消費税率の改定が延期になった場合はどうするのか。

総務部長 税率の引き上げいかにかわらず、使用料の改定は必要であると考えていますが、実施時期は検討します。

問 節水のために庁舎や公共施設の女子トイレに音姫（トイレ用の擬音装置）を設置してはどうか。

総務課長 設置費用とあわせ、効果等（水道水の節約、予算の削減）を研究したいと思えます。

問 空き店舗を活用して中央通りに公共トイレと高齢者や親子連れなど誰でもが気軽に立ち寄れる、憩いの場を設置してはどうか。

市民経済部長 いわぬま市民交流プラザを利用いただければと考えます。

市長 今はそんなに不便との思いはありませんので商店会の皆さんに協力をいただき、対応していただければありがたいと思えます。

◎その他の一般質問
 ・不登校対策
 ・（仮称）西部地区防災コミュニティセンター



各種証明書等のコンビニ交付

佐藤 淳一

問 コンビニ交付導入の初期費用について伺う。

市民課長 システム構築費用と改修費用で5699万1千円を見込んでいます。

問 保守管理など、年度ごとにとの程度のランニングコストを見込んでいるのか伺う。

市民課長 クラウド利用料などで、年間800万円余りを見込んでいます。

問 コンビニでの交付が進んだ場合のコスト削減などの効果を伺う。

市民経済部長 長期的には行政コストの削減につながるものと考えています。

問 コンビニでの証明書等交付の手数料について伺う。

市民経済部長 手数料については、検討中です。

問 導入済み自治体での状況（利用数など）を伺う。

市民経済部長 名取市では、導入初年度1000件程度が次年度は2倍の2000件の交付になり、仙台市でも初年度1万件が次年度2万件的の交付になっています。

手数料設定を低くしては

問 コンビニでの交付を多くの皆さまが利用すれば、市役所窓口業務の委託、職員の適正配置で業務のスリム化・効率化ができ、かけたコスト以上の効果が得られる。導入のメリットを生かすためにも、コンビニでの証明書等交付の手数を窓口での発行より低く設定すべきと考えるがどうか伺う。

市長 全体の手数料・使用料の見直しをしていく中で、サービスという観点から十分検討します。

問 コンビニ交付の利便性についての啓発や、利用促進が重要と考えるが、どのように行うのか伺う。

市民経済部長 コンビニ交付制度の中身を市民に丁寧に説明するとともに、あわせてマイナンバーカードの取得の促進をPRしていきたいと考えています。

◎その他の一般質問
 ・陸上競技場



岩沼市斎場のペット火葬等

酒井 信幸

問 斎場が供用開始してから、ペットの火葬件数は何件か。

市民経済部長 11月末現在、ペットの火葬件数は138件です。

問 火葬炉を新設するに当たり、件数を何件に設定していたか。

生活環境課長 年間約300頭と見込んでいました。

問 5月に斎場の運用を開始して、予約方法が12月になって変更になったが、どのように変わったのか。

生活環境課長 基本的には一般火葬を優先することは同じですが、ペット火葬をなるべく受け入れるようにして、午前中は9時、10時、11時の3回のうちの1回、午後は1時、3時の2回で、ペットの遺骨を持ち帰る場合について1日3回を限度に受け入れるように変更しました。

問 今回、変更したが、これまで利用者からの苦情等があったのか。

生活環境課長 一般の火葬が行われているとペット火葬の対応ができないので、当日に火葬できるよう改善を図るべきとのご意見をいただいています。

問 苦情等の件数は何件あったか。生活環境課長 これまで10件ほどありました。

預かり火葬の検討すべき

問 ペットの遺骨を持ち帰る方の預かり火葬は現在、行っていないが、利用者に沿った対応として、預かり火葬について検討してはどうか。

生活環境課長 一般の火葬が混み合った場合やペット火葬が集中した場合など、預かり火葬について考えなければならぬと思います。

問 岩沼市斎場の場所がわかりづらい。案内板の設置を早急に検討すべきと思うがどうか。

生活環境課長 斎場入口に12月中旬に大きな看板を設置予定です。また、斎場入口の北と南100メートル手前に看板を設置する予定です。

◎その他の一般質問

・運転免許証の自主返納者に対する支援



高齢者福祉

植田美枝子

問 高齢者の地域社会でのさまざまな課題を、地域の問題として捉えるための意識の向上を、どのように図っていくか。

健康福祉部長 地域ケア会議の場などで、課題の共有や問題解決のために検討を重ねています。

問 介護予防サービスは、現在どのようなものがあるのか。

介護福祉課長 訪問型サービス・通所型サービス・健幸いきいき広場・介護予防教室事業等があります。

問 本市独自のサービスはあるのか。

介護福祉課長 全てが本市独自のサービスです。

問 交流サロン等への助成金は何件か。

介護福祉課長 10カ所の交流サロンと24カ所の介護予防サロンに助成金を出しています。サロンは市内に87カ所あります。

サロンへの助成金の充実

問 サロン等にもっと助成金を出して活発な活動を促してはどうか。

◎その他の一般質問

・創業支援対策

介護福祉課長 高齢福祉サービスでは、住民主体による交流サロンなどへの助成を実施し、広がりのある活動につなげていきたいです。

問 今後の在宅医療をどのように捉えているか。

健康福祉部長 在宅医療の需要は増加するものと予測しており、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けていく地域包括ケアシステムの構築、医療と介護と福祉サービスが連携する事が重要になってくると考えます。

問 ボランティアポイント制度をどのように捉えているか。

健康福祉部長 市民活動の推進や、地域づくりへの参加を促す手法の一つと考えます。

問 ボランティアポイント制度を導入してはどうか。

健康福祉部長 今は、ボランティア登録制度を定着させることを考えています。



交流人口の拡大

高橋 光孝

問 千年希望の丘で、千人から1万人くらいの音楽フェスなどの開催は可能か伺う。

復興・都市整備課長 可能です。

問 プロモーターへアプローチして、企業版ふるさと納税に協力いただき、岩沼宿泊の方にはバックヤードパスなどの特典を設けてはどうか伺う。

建設部長 提案をいただければ、できるものは支援をしていきたいと思えます。

子どもキャンプ場を利用

問 ハナトピア岩沼の現行の条例で、キャンプ場としての利用は可能か伺う。

農政課長 現行の条例上は、キャンプ場としての規定がないので、キャンプ場として開放することはできないと考えています。

問 那須のキャンプ・アンド・キャビンズ那須高原は週末、GW、夏休み期間は大人だけのグループが利用できない子どもキャンプ場として、非常に静かで安全で、子どもたちの学習にも非常に役に立

つというところで、ここ数年人気を集めているが、そのような利用はできないのか伺う。

市民経済部長 条例等を変更するかどうかの前に、施設の必要性についてしっかりと議論があるのではないかと思います。その中で方向性が定まれば、必要な課題はクリアしていくということになりますので、その中で条例改正が必要ならば条例改正をするというような方向になります。

問 この辺にそつという施設がなく、広い面積ではない分、逆に危険度も少なく非常にいい施設、いい活用方法はないかと思うが検討できるか伺う。

市長 まずは（借地である、農業施設である、補助金の制限が切れるのが二、三年後などの）抱えている問題を早目に解決し、キャンプ場という発想は、将来的に見れば可能性としてはあるような気はしますが、さまざまな課題をクリアしないと次のステップには行けないという現状をよく理解いただきたいと思えます。

つというところで、ここ数年人気を集めているが、そのような利用はできないのか伺う。



若者の定住支援策

佐藤 一郎

問 仙台市長は、若者の地元定着を支援する仙台版給付型奨励金を創設し、支援する方針を打ち出している。31年10月から消費税が10%となる予定だが、若者の定住支援策の一環として、景気対策も兼ねて、商工会が発行する商品券を検討してはどうか伺う。

総務部長 まずは定住をいただき、安定した生活をするため雇用の確保が大変重要です。岩沼市のまち・ひと・しごと創生総合戦略により

地方創生の取組で、子育て支援や教育環境の充実、安全安心のまちづくりを中心に住みたいまち、住み続けたいまちを進めています。一時的な商品券などの支給による定住促進は、考えていません。

問 過去に若者世帯の低所得者向けの結婚世帯の助成金等があった。若い世帯が岩沼市に定住するため、新婚世帯の家賃助成制度として、商工会が発行する商品券を検討してはどうか伺う。

総務部長 岩沼市の魅力を感じて定住をしていただくという考え方で政策を進めていますので、家賃

の補助を行うなどの手法で定住促進は考えていません。

子ども医療費助成18歳に

問 子ども医療費助成は、現在中学3年生までとなっている。18歳、高校生までの拡大について、30年2月定例会の会派代表質問でも取り上げた。

市長の公約に「子育て支援と教育環境の充実」とある。31年度の予算化の方向付けはどのように考えているのか伺う。

市長 大都市のほうが財源が必要になるわけで、なかなか踏み切れない現状です。他市の状況も見ながら他と格差がないように考えます。18歳まで拡大していくと国からのペナルティーがあるという部分もあります。これらをしっかりと見て、医療費の助成については18歳まで拡大するかどうか考えていくべきと思えます。

◎その他の一般質問
・貞山運河の活用



空き家対策

佐藤 剛太

一問一答方式による一般質問

問 今後、少子高齢化が進み、人口減少が加速していく。岩沼市では空き家問題がまだまだ深刻な問題になっていないが、逆に岩沼市に住みたいが土地がなく、家を建てられず住めないという話もある。必ず今後空き家は増える。その問題に対する早期の対策と岩沼市にある空き家を活用して1人でも多くの定住者の拡大や地域活性化につなげていくことが必要と考える。空き家の現状とこれまでの取組を伺う。

生活環境課長 平成27年度から空き家等管理台帳を作成して、現在、54件の空き家を把握しています。

問 今まで民間業者とはどのような連携を行ってきたのか伺う。

総務部長 現在、公益社団法人宮城県宅地建物取引業協会、公益社団法人全日本不動産協会宮城県本部と相談窓口を担っていただけるよう調整を進めています。

空き家対策に支援制度を

問 効果的な支援制度を活用して、空き家の解消を定住者の拡大につなげるべきではないか。

総務部長 行政側の補助制度により支援することについては、十分な検討が必要と考えています。

問 以前、質問があった農家住宅(市街化調整区域)の空き家に対して、どのような取組を行ったか伺う。

総務部長 対象の区域は市街化区域だけではなく、市域全体、市街化調整区域の空き家も含めて活用についての相談を受けていただくことで、先ほどの2つの公益法人と相談窓口の設置について進めています。

問 空き家を活用した地域活性化を行えないか伺う。

総務部長 岩沼市は空き家があるとすぐに買い手が見つかるのが現状です。空き家という情報が伝わることによって空き家が解消されていくということですが、まず調整を行っていききたいと考えます。

◎その他の一般質問
・シティプロモーション



千年希望の丘協会

須藤 功

問 千年希望の丘協会とはどのような法人か伺う。

総務部長 一般社団法人で、剰余金の配分を目的としない法人です。平成29・30年度の岩沼市競争入札参加資格審査申請の資料では、千年希望の丘の保存及び整備、運営、管理を支援し、岩沼市の市勢発展と住民福祉の向上を図り、併せて協会員の親睦を深めることを目的とする法人となっております。

問 代表や社員は何人か。

総務部長 代表理事は井口経明氏で、役員は同氏を含め4名です。

問 岩沼市から平成29・30年度に草刈りの依頼を受けている。両入札の入札状況と結果を伺う。

総務課長 29年度分は、4公園分の除草業務で、契約額は税込み1987万2千円です。また、30年度は6公園分の除草業務で、契約額は同じく税込み2111万4千円です。

問 この入札は委託で、1900万円とか2200万円という数字になっている。どのような入札方法なのか。何社で競争したのか。

随意契約なのか。
総務課長 今回の入札は随意契約で、1社です。

入札は分割発注としては

問 実質的な草刈りは全部地元の農業生産法人に下請として出しており、だとしたら単なる草刈である。年4回やらなければいけないなら、そこ(農業生産法人)に分割して発注するとか、もしくは一括して発注するならば、もっといろいろな法人や組織にも入札機会を与えていいと思う。これは疑われると思うが、そう思わないか。

総務課長 この団体は地域の事情等にも精通しており、地元の関係団体との連携もとれます。また、作業箇所も複数にわたりますので、その取りまとめ的な部分を玉浦地区の農業法人等の農作業の状況等も踏まえながら、調整をしていたり、だくという面もあります。取りまとめの団体の業者選定となっております。

◎その他の一般質問
・相野釜地区農業集落排水施設